

『Beyond COVID-19 toward 2030』 ひがし北海道SUSTAINABLE  
～sustainableによる地域観光体制を考えるシンポジウム～



株式会社Foresight Marketing  
能登 重好

## 株式会社Foresight Marketing 代表取締役 能登重好



(プロフィール)

大手旅行代理店勤務を経て、1993年フィンランド政府観光局にマーケティングマネージャーとして入局、1996年より同日本局長。20年以上にわたりフィンランドのプロモーションに関わっている。2010年に株式会社Foresight Marketingを設立し、現在もVisit Finland (フィンランド政府観光局の現在名)の業務を助けるほかバルト三国の政府観光局の日本代表、EUによるプロジェクトのマーケットスペシャリストとしてプロモーションの戦略立案、マーケティングにも関わる。

## 本日のアジェンダ

- 1、世界のサステナブルツーリズム事情
- 2、実例 1 Mālama Hawai‘i ”マラマハワイ”
- 3、実例 2 Sustainable Travel Finland
- 4、ひがし北海道のサステナブルツーリズムプロジェクト

## Sustainable Travel Index Ranking 2021

### Rank Position

Sweden	1	Canada	21	Ecuador	41	Bahrain	61	Nigeria	81
Slovakia	2	Bolivia	22	Cameroon	42	Uzbekistan	62	South Korea	82
Finland	3	Australia	23	Greece	43	Taiwan	63	Macau, China	83
Austria	4	Poland	24	Mozambique	44	China	64	Turkey	84
Estonia	5	Ukraine	25	Georgia	45	Costa Rica	65	Cambodia	85
France	6	Ireland	26	Peru	46	Tunisia	66	Egypt	86
Latvia	7	Italy	27	Jordan	47	Russia	67	Fiji	87
Iceland	8	Romania	28	United Arab Emirates	48	Azerbaijan	68	Thailand	88
Slovenia	9	Belarus	29	Tanzania	49	Chile	69	Qatar	89
Norway	10	Netherlands	30	Brazil	50	Japan	70	Malaysia	90
Switzerland	11	North Macedonia	31	Mexico	51	Oman	71	Pakistan	91
Denmark	12	Malta	32	Colombia	52	Kazakhstan	72	Philippines	92
Lithuania	13	Serbia	33	South Africa	53	Dominican Republic	73	Singapore	93
Croatia	14	Uruguay	34	Bosnia and Herzegovina	54	Algeria	74	Mauritius	94
Germany	15	USA	35	Guatemala	55	Jamaica	75	Vietnam	95
Czech Republic	16	New Zealand	36	Israel	56	Kenya	76	Morocco	96
Hungary	17	Cyprus	37	Hong Kong, China	57	Argentina	77	India	97
Belgium	18	Bulgaria	38	Myanmar	58	Sri Lanka	78	Lebanon	98
Portugal	19	United Kingdom	39	Saudi Arabia	59	Kuwait	79	Indonesia	99
Spain	20	Panama	40	Laos	60	Maldives	80		

# 世界のサステナブルデスティネーション度

TOP LEVEL

スウェーデン、フィンランド、オーストリア、エストニア

2ND LEVEL

その他ヨーロッパ、USA,オーストラリア、ニュージーランド

3RD LEVEL

アジア諸国

4TH LEVEL

アフリカ諸国

# Embrace *Mālama*

**“マラマ”、思いやりの心でハワイの  
伝統や文化を受け入れる。**

Mālama Hawai'i “マラマハワイ” は、ハワイを思いやる心。レスポンシブル・ツーリズムのハワイ版スローガンです。

マラマとはハワイのことばで“思いやりの心”。何十年後も、何百年後もハワイが持つ素晴らしい伝統文化や美しい自然環境を守っていくために、ハワイ州では様々な取り組みが行われています。



# Be a *Pono Traveler*

## ハワイから 地球にやさしい旅を。

今、私たちが暮らす地球は、環境問題、気候変動、資源・エネルギー問題、生物多様性の損失、食糧問題などさまざまな問題に直面しています。一方で、昨今の観光客の減少によって自然環境の改善や海洋ゴミの減少といった現象がハワイでも見られ、地球環境には良い一面もありました。このことは、私たちの暮らしが地球環境にもたらしていた影響が大きいという証です。



# Be a Pono Traveler

世界中を旅する全ての旅行者が  
“ポノトラベラー”でありますように。

ハワイには、ポノトラベラーという素敵な言葉があります。

旅行先の住民が大切に守っている自然環境や文化、習慣に敬意を払い、  
正しい行動を取ることができる旅行者のことをポノトラベラーと呼びます。  
ポノとはハワイ語で善良、道徳的な正しさ、幸福、同義をわきまえたという意味です。

ハワイを大切に思ってくださいるポノトラベラーの皆さま、  
これからもハワイがハワイであり続けるよう応援いただけますようお願いいたします。

世界の海や空は繋がっています。

ハワイだけでなく、世界中を旅する全ての旅行者がポノトラベラーでありますように。





Clean Energy  
Transformation

クリーンエネルギーへの転換



Local food

地元産の食材供給



Natural Resource  
Management

天然資源の管理



Green Workforce  
& Education

グリーンジョブおよび環境教育



Smart Sustainable  
Communities

スマートで持続可能なコミュニティ



Solid Waste  
Reduction

固形廃棄物の削減

旅行者にお願いしたい、5つのアクション

# Five Actions Travelers Can Take

レスポンシブル・ツーリズムを実践する、ポノトラベラーになるために。ハワイに来る旅行者のみなさんにもできる5つの行動があります。ハワイに来る前にぜひ予習しておいてください。

---

01 海洋動物に出会っても、むやみに近づかない

+

---

02 有害成分の入った日焼け止めの使用禁止

+

---

03 森林を訪れるときは靴裏の泥を落とす

+

---

04 進入禁止エリアに侵入しない

+

---

05 エコバッグやマイボトル、マイストローなどを持参

+

---

フィンランド政府観光局では、サステナビリティを旅行業界の新しい常識とし、フィンランドを世界で最もサステナブルな旅行先のひとつにしたいと考えています



**SUSTAINABLE  
TRAVEL  
FINLAND™**



フィンランドは2035年までに持続可能なカーボンニュートラル化を目指しています。  
また、世界初の化石燃料を使わない福祉社会になるように努力しています。

2018年にVisit Finlandが実施したフィンランドの観光業界へのアンケートで、以下のことが明らかになりました。

83%

が国家的な持続可能性  
観光プログラムを支持

75%

の人がサステイナブル・  
ツーリズムのコーチング  
に興味を持っていました

# “包括的”なアプローチ

“ホリスティックなアプローチで環境面だけでなく経済的な格差をなくすことでコミュニティに活力を与えられる産業を目指します。

全ての面での持続可能性にフォーカスします

環境

文化

社会

経済

## サステナビリティー環境

CO2の排出量を最低限にする  
リサイクルする、ゴミの量を減らす  
電気と水など、資源を有効に使う  
環境に被害を及ぼす影響を最低限にする（雪の貯金！）環境に優しい商品や材料を選択する  
従業員を継続的に訓練して意識とモチベーションを維持するサステナブルな取り組みを発信する

## サステナビリティー経済

経営ビジョンを長期的に見てサステナブルな投資を行う  
季節労働ではなく通年の雇用を提供する  
地元の住民を雇う  
地元の商品やサービスを選択する  
地産地消を心がける  
食品廃棄を削減する  
オーガニックな食品を選ぶ

## サステナビリティ社会

性別や年齢などを問わず平等である観光業界に貢献する  
施設をバリアフリニにしてサービスを誰でも利用できるようにする  
お客さんに平等にサービスを提供する  
従業員を平等に扱う  
人々の多様性を大事にする

## サステナビリティ文化

地域の文化を守って大事にする  
地域と協力して観光を発展する  
地域と継続的にコミュニケーションするローカルの材料や商品の使用を促進する  
地域の名物やスペシャルティをプロモーションする例えばルカ・クーサモのサウナツアーも！







# SUSTAINABLE TRAVEL FINLAND™

サステナブル・トラベル・フィンランド 認証はサービスを提供する会社や  
地域が持続可能な運用と発展に責任を持つことを保証するレーベルです。

# 持続可能な観光開発のための7ステップのアプローチ

ステップ1.  
コミットメント



ステップ2.  
ノウハウの蓄積



ステップ3.  
開発・アクションプラン



ステップ5.  
認証・監査



ステップ4.  
責任あるコミュニケーション



ステップ6.  
検証・測定可能性



ステップ7.  
合意形成と継続的な開発

# STFの現状

## プログラムでは

- ・ 50の目的地
- ・ 540社

## STFラベル取得

- ・ 70社（宿泊施設、フェリー、港湾、レストラン、アトラクション、イベント、アウトドアリゾート、旅行会社、運輸会社など）
- ・ 1件（ラップランド、ポシオ）

## 旅行業界への教育。

- ・ 招待制のeラーニングプラットフォームは、約850人のユーザーを抱えています。
- ・ 60以上の持続可能な観光ワークショップを開催、約1300社が参加
- ・ フィンランドにおける持続可能な観光の現状を知るための何百ものセルフアセスメント。

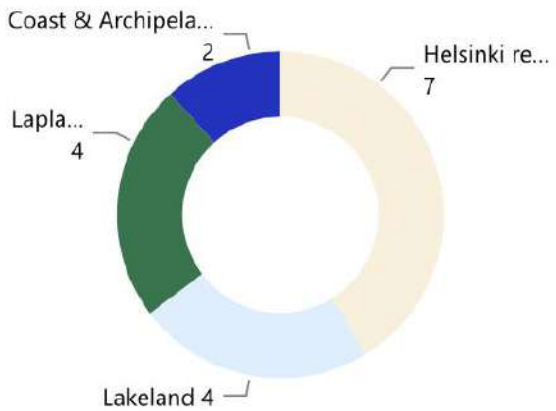
# Sustainable Travel Finlandの現状

Approved STF labels- year month

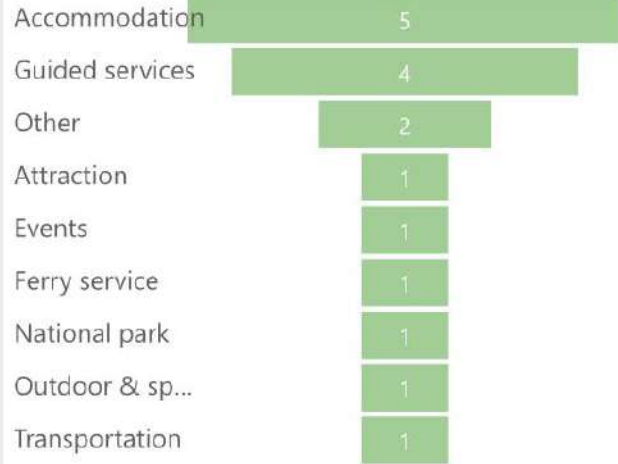
2021 11	2021 12	2022 01	2022 02	2022 03	2022 04	2022 05	2022 06	2022 07	2022 08	2022 09	2022 10	2022 11	2022 12
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

New Application	Renewed Application
-----------------	---------------------

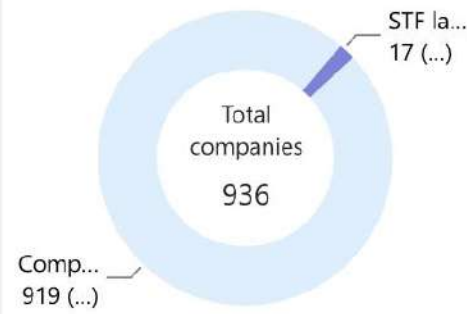
## STF LABELS IN GREATER REGIONS



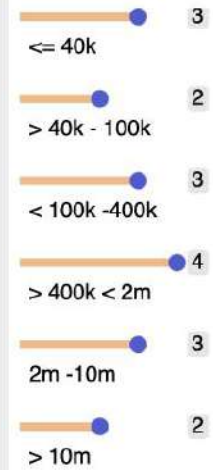
## MAIN INDUSTRY



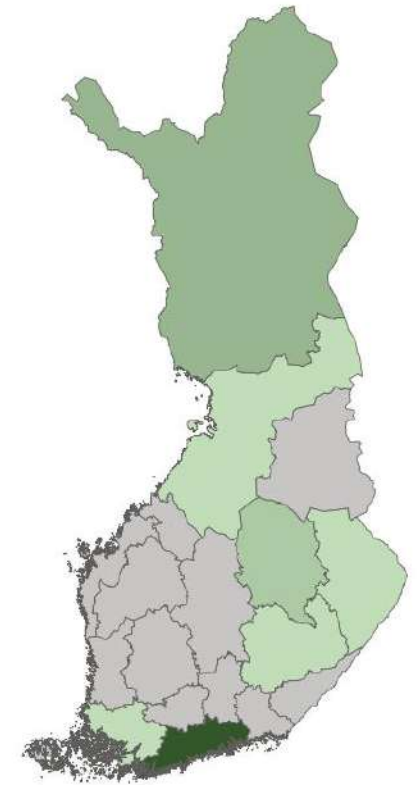
## STF LABELS & TOTAL COMPANIES



## REVENUE

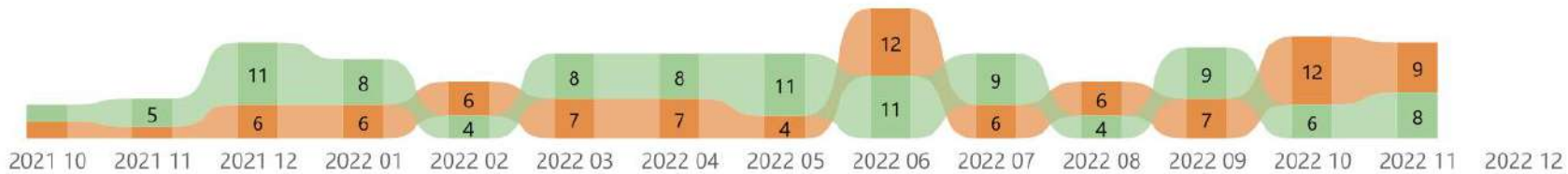


## STF LABELS IN REGIONS



## APPROVED STF LABELS

● New Application ● NO APPROVAL ● Renewed Application



## EMPLOYEES



# サステイナブル誓約 (Sustainable Pledge)

- 旅行中にフィンランド人のように内面からスローダウンします。
- ありのままの自然に囲まれるとリラックスして自然との結びつきを取り戻すことができます。自然を最大限に尊重して大切にすることを誓います。
- 森と湖はプラスチックで汚染されるべきではありません。私はゴミを後に残しません。
- 気候を最優先し、世界で一番のフィンランドの水道水で渴いた喉を癒します。
- フィンランドの自然享受権は私たちに平等に与えられた権利です。この権利は、責任を持って楽しむべきものです。
- ベリーとキノコは摘んで食べてよいものですが、踏み固められてできた小道を外れることはしません。
- 人類が存在するずっと前から大自然は存在していました。キャンプをするときには設営場所に注意します。
- 地元の人たちの生活も尊重します。そこで生活する人々に配慮して、むやみに写真を撮ったり大声で話したりすることは慎みます。
- フィンランド人は少しよそよそしい時がある人たちだということは分かっていますが、この誓約に署名し信頼を獲得します。

# フィンランドでサステイナブルな旅 をするための10のヒント

1. 身軽に旅する
2. ハイシーズンを避けて、より長期間滞在する
3. 公共交通機関を利用する
4. 地元の人たちを尊重する
5. 地元の食, デザイン, 工芸品に親しむ
6. (責任を持って楽しむ) 自然享受権
7. リサイクル
8. 水道水を飲む
9. ベジタリアン食を食べてみる
10. フィンランド人のように生活を楽しみましょう！

# ポシオ-フィンランドで初めて「サステイナブル・トラベル・フィンランド」ラベルを取得した旅行先



ラップランド

## 無名のデスティネーションの逆転劇

ポシオに拠点を置く旅行会社の半数以上が、サステイナブル・トラベル・フィンランドのラベルを取得しています。以前は知られていなかった旅行先が、今ではサステナビリティを競争力の源泉としているのだ。

観光客の群れではなく、本物の体験を求める旅行者を惹きつけたいと考えているのです。

この地域の公共事業者も民間事業者も、持続可能な旅行の開発に取り組んでいます。

ポシオは、世界的な「2020年サステナブル・デスティネーション・トップ100」にもランクインしています。このリストは、持続可能性に向けた本格的な取り組みを行っている旅行先をランキングしたものです。

ポシオはラップランドのクオッパアングラとソルヴァニエミの間に位置し、人口は3,000人



[HOME](#) > [THINK SUSTAINABLY](#) > [THINK SUSTAINABLY CRITERIA](#)

# Think Sustainably criteria



独自の認証制度





Attractions in Helsinki  
for conscious  
consumers



Helsinki's sustainable  
shopping destinations



Helsinki's restaurants  
that embrace  
sustainability

# 認証されたサービスは推奨



Helsinki accommodation for the responsibly minded  
traveller





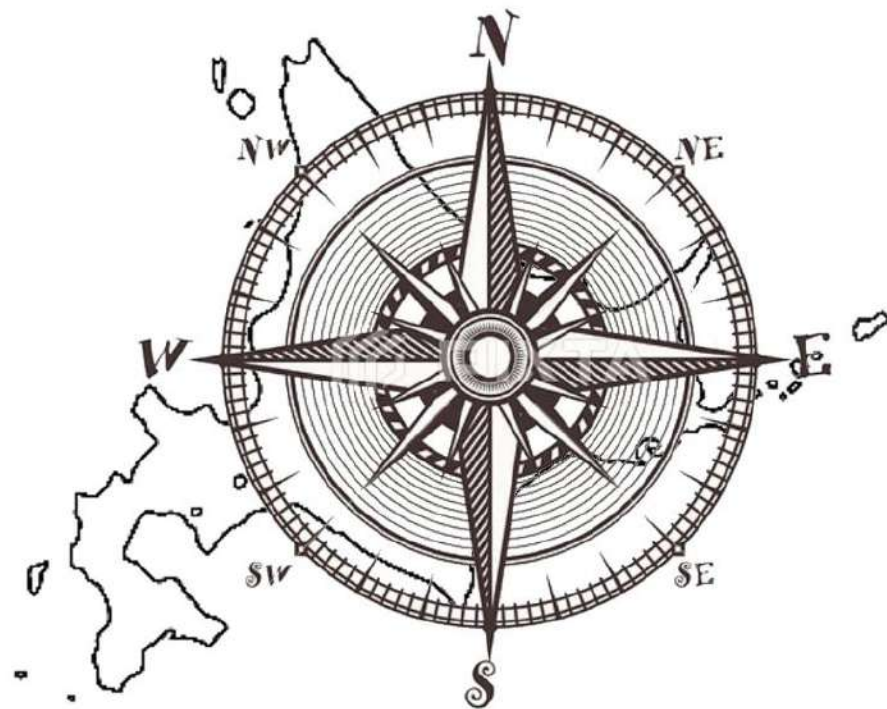
# 伝統のサウナを利用したサウナツアー SAUNA & WELLNESS

A snowy day is finished perfectly in a  
smoke sauna or spa. A real treat!

# 雪の貯金



# 驚きの持続可能世界へ。



わたしのサステナブル羅針盤。  
ひがし北海道

**MY SUSTAINABLE WONDER COMPASS, EAST\_HOKKAIDO.**



## タウンミーティング

No	期間	地域
1	2121.11.28-11.30	帯広、上士幌、阿寒、弟子屈、摩周、網走
2	2022.1.31.2.4	阿寒、弟子屈、斜里、知床、網走
3	2022.5-23-26	釧路、弟子屈、阿寒、野付半島、網走
4	2022.8.3-5	網走、弟子屈、阿寒、鶴居村
5	2022.11.5-8	斜里、網走、釧路、弟子屈

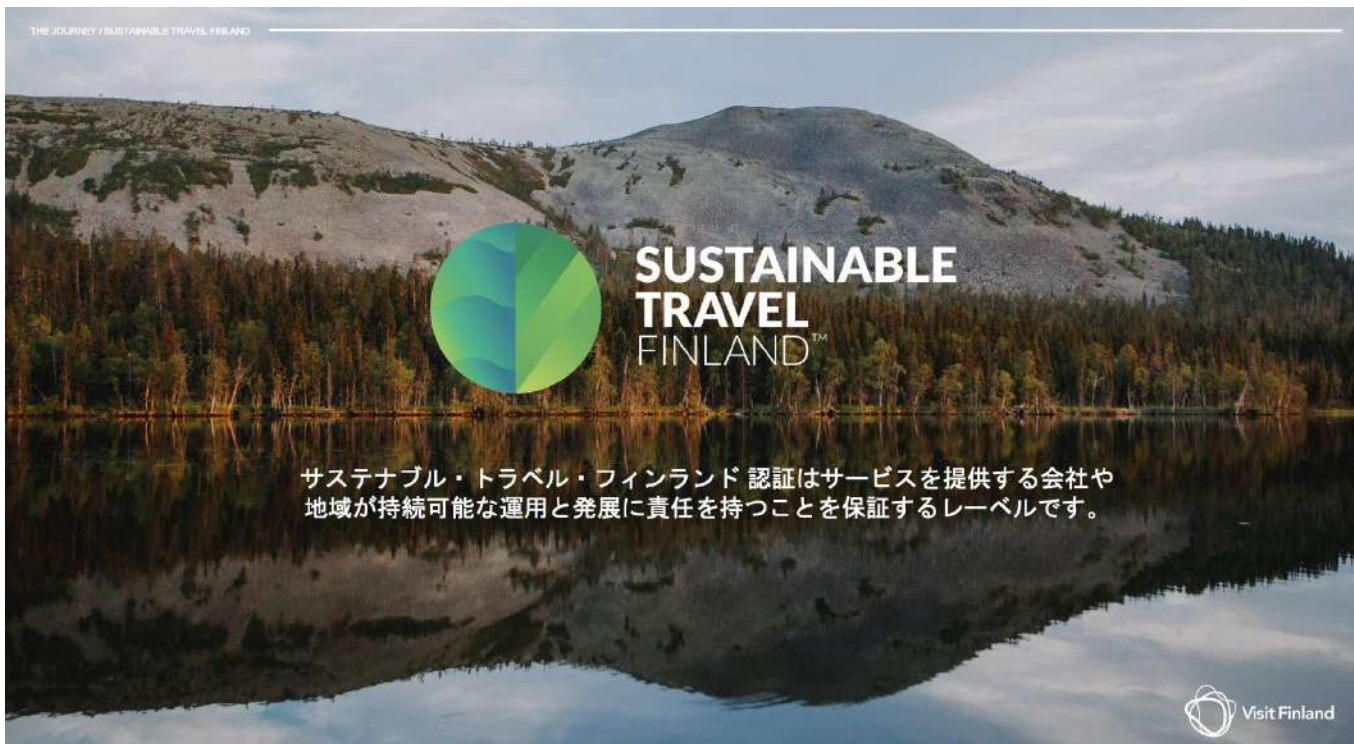
ひがし北海道は厳しい自然にありながらも稀に見る自然遺産を有し、長い歴史を持つ数多いサステナブル活動の歴史も併せ持つ稀有なデスティネーションで、サステナブルツーリズムを強調するのに最適である

# ひがし北海道DMOにおけるアプローチの考え方

先進デスティネーションである北欧モデルを利用し、ひがし北海道としての独自の方法でアプローチする。

## Point

- 先進デスティネーションで世界でも注目を集めるフィンランド・北欧モデルを取り入れる
- 3段階のユニークなアプローチで独自路線を進め、差別化を図る
- ホリスティックなアプローチを重視し、地域の問題解決にもつながるような広い視点を持つ
- サステイナブルツーリズムをライフスタイルプロモーションとして捉える



# ひがし北海道サステイナブルツーリズムプロジェクトの3つの柱

すでに対応できているコンテンツの再発見

現地の方々には当然の現象やライフスタイルも外部から見ると貴重なコンテンツになりうることが多い。情報を外部目線で解釈し、ストーリー化することでひがし北海道ならではの独特のコンテンツ群になりえる。

新たな挑戦の設定

国際認証制度なども参考にしながら各自治体の判断も尊重しながら、次の取り組みとして新たな改善テーマを設定する。設定にあたっては雇用や文化保護などのホリスティックなテーマも含めてキーワードやキーコンテンツを紹介しながら検討する。

旅行者からの共感獲得とマーケティング

サステイナブルツーリズムはサービス提供側だけでは実現できないことも多い。観光地としてメッセージを発信することで旅行者の共感を得られるとともに、観光地の持続的発展に貢献でき適切な観光地マネジメントをすることができる。



## すでに対応できているコンテンツの再発見

タウンミーティング



すでに対応できている  
コンテンツの  
再発見

## 情報発信

- Story化
- 人とコミュニティにフォーカス
- 情報発信方法の工夫
- 外部とのコラボ

# 旅行者からの共感獲得とマーケティング

## サステナブルなメッセージの発信で旅行者からの共感を得る

サステイナブルツーリズムではサービス提供側は当然自然環境に配慮するなどのサステイナブルなサービスを提供するが、それだけでは十分ではないし、本来の目的を達成できないことも多い。旅行者側へひがし北海道に住む人々の文化や環境を尊重する配慮も求め、観光地としてメッセージを発信することで旅行者の共感を得られるとともに、観光地の持続的発展に貢献でき適切な観光地マネージメントをすることができる。

### ひがし北海道でサステイナブルな旅をするための10のヒント

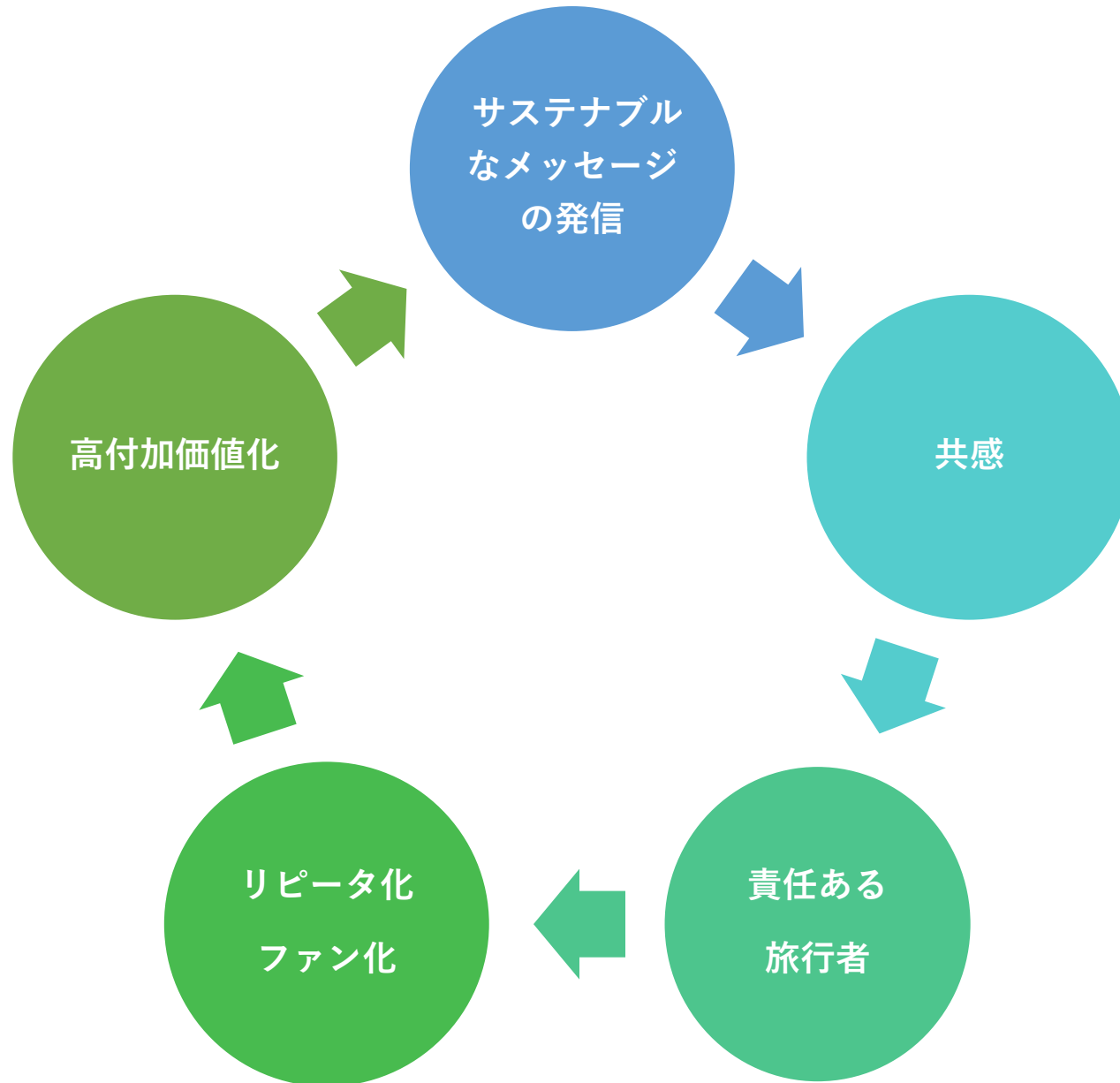
1. 身軽に旅する
2. ハイシーズンを避ける
3. より長期間滞在する
4. 公共交通機関を利用する
5. 地元の人たちを尊重する
6. 地元の食に親しむ
7. 自然の中では責任を持って楽しむ
8. リサイクルに心がける
9. マイボトルで水道水を飲む
10. 地元のデザイン,工芸品をお土産にする

共感

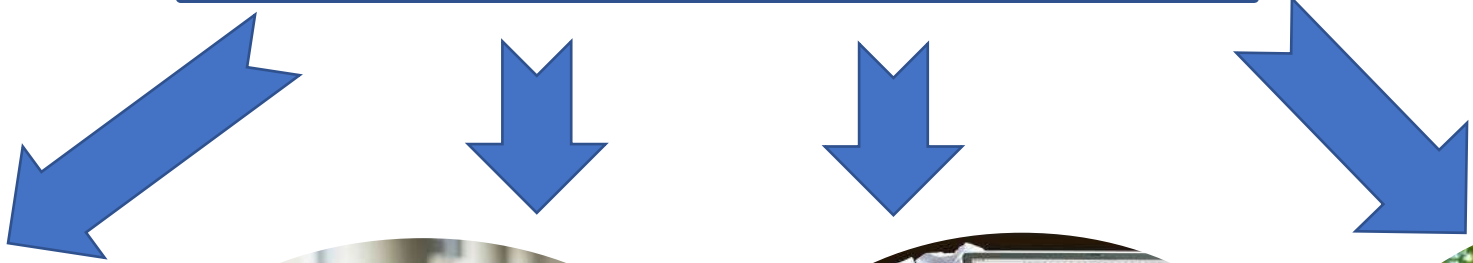
責任ある旅行者  
(Responsible Travelers)

リピーター化  
ファン化

# 旅行者からの共感獲得とマーケティング



# 4方向へのメッセージ



旅行者

旅行業界

雑誌・報道

地域、住民

旅マエ

旅ナカ

旅アト

旅行会社

業界プレス

地方紙  
地方局

全国紙  
キー局

ライフ  
スタイル紙

# プロモーション素材とチャンネル（案）

## ひがし北海道サステイナブルカード

ひがし北海道旅行の10のヒントを記載した小さなカード。旅行者が簡単に実行できることが記載されているので楽しくサステイナブルに協力できる。ひがし北海道への商品のある旅行会社から顧客へ配布。また空港やインフォメーションセンター、アクティビティー会社や宿泊箇所でも配布。

## ひがし北海道でサステイナブルな旅 をするための10のヒント

1. 身軽に旅する
2. ハイシーズンを避ける
3. より長期間滞在する
4. 公共交通機関を利用する
5. 地元の人たちを尊重する
6. 地元の食に親しむ
7. 自然の中では責任を持って楽しむ
8. リサイクルに心がける
9. マイボトルで水道水を飲む
10. 地元のデザイン,工芸品をお土産にする



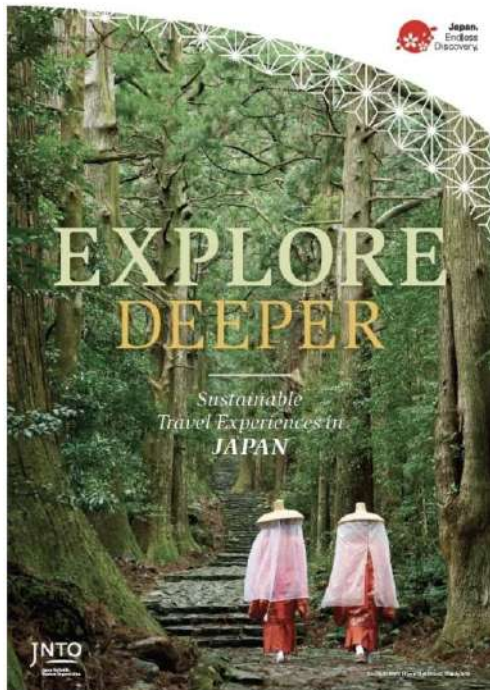
# プロモーション素材とチャンネル（案）

- ひがし北海道サステナブルウェブサイト

人を中心にストーリーを描く。「ひがし北海道トラベルラボ」や「ひがし北海道スタイル」とリンク。

- サステナブルE-Book（日本語、英語）

サイト上からダウンロード可能なサステナブルコンテンツを集めたデジタル・パンフレットセールスやワークショップ、イベントなどでオンデマンドでプリントアウトして配布することも可能。メディアのネタ本になれるようなクオリティを目指す。



# プロモーション素材とチャンネル（案）

- **デジタルサイネージュ**

現在ひがし北海道に配置が進んでいるデジタルサイネージュからの画像、映像による情報発信。

- **プレスリリース**

定期的にプレスへ向けてプレスリリースを発信

- **ニュースレター**

旅行業界へはニュースレターの形でコンテンツを継続的に発信

- **メルマガ**

CRMメンバーへ定期的にメルマガでコンテンツを発信

- **ひがし北海道サステイナブルプロモーションビデオ**

Youtubeにアップロードすると同時に各種イベントで上映

導入イメージ

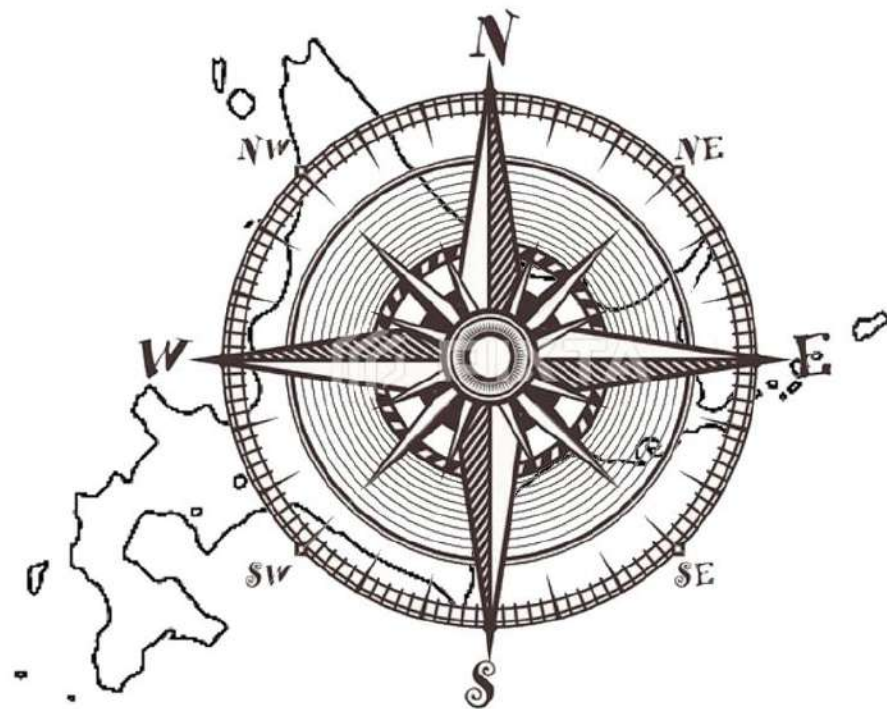


## まとめ

- サステナブルツーリズムは今後ツーリズムのスタンダードになる
- 旅行会社間の取引でも取り組みを求められる
- 早期の取り組みと将来的には商品へつなげる努力が必要
- 地元とのコミュニケーションが重要
- サステナブルツーリズムはブームではなく長く続くムーブメント



# 驚きの持続可能世界へ。



わたしのサステナブル羅針盤。

ひがし北海道

**MY SUSTAINABLE WONDER COMPASS, EAST\_HOKKAIDO.**